

折尾愛真

NEWS LETTER



2010年 9月
7号 Vol. 33

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 Since 1935 (昭和10年)

地域の皆様に支えられ、創立75年を迎えました。

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

看護専攻科

マナー研修



講演中の金生先生

看護専攻科1年生は、恒例の実践マナー研修を講師の金生郁子先生をお迎えして受講しました。「医療現場で患者様に心地よく過ごしていただくには」と題しての講演に少し違和感を覚えていた学生も、研修が進んでいく中で自ら身だしなみを整え研修に臨んでいた姿が印象的であった。また、研修の前には卒業生の順天堂大学附属病院に勤務している河村砂喜さんが後輩へメッセージを送っていました。

シャロンカップコンテスト

9月18日(土)、第22回シャロンカップコンテストが短期大学の礼拝室を会場に近隣の女子中学生及び遠くは福岡市からの出場者を迎えて盛大に行われました。このコンテストは、国際性豊かな生徒の育成と英語教育の振興に寄与する目的で22年前に始まり、今回は13名の中学生が参加しました。結果は次の通りです。



順位	氏名	中学校
1	大神 めぐみさん	明治学園
2	堤 和花さん	明光学園
3	長池 温子さん	福岡雙葉

健康福祉コース

ボランティア参加

8月28日(土)・29日(日)の二日間、全日本視覚障害者協議会女性部第16回福岡大会の全国大会がクラウンパレスで行われ本校の福祉コースの生徒1・2年生17名がボランティアとして参加しました。



体育祭

9月8日(水)、2010年度体育祭が宗像市のグローバルアリーナでありました。ことしは「友愛魂」～光輝く友との絆～をスローガンに縦割りの3ブロックに分かれ熱戦を繰り広げていました。特に、各ブロックでの応援合戦はそれぞれ趣向を凝らした演技に観客から大きな拍手をもらっていました。



オープン授業実施予定 【10月5日(火)～16日(土)の10日間】

時限	時間	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)
1	9:00～9:45					美容実習 製菓実習
2	9:55～10:40	社会福祉 援助技術		情報処理		
3	10:50～11:35	●看護技術	発達と保育	情報処理	器楽	情報処理
4	11:45～12:30	●製菓実習	数学Ⅰ	基礎介護	数学Ⅱ	
5	13:15～14:00	理科総合	英語Ⅰ	日本史B	数学Ⅲ	
6	14:10～14:55		現代文	精神保健		
7	15:05～15:50					
時限	時間	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)
1	9:00～9:45	現代文		文書デザイン		英語 北九州予備校
2	9:55～10:40			介護福祉基礎	数学Ⅰ	英語 北九州予備校
3	10:50～11:35	●美容実習		情報処理	●看護技術	英語 北九州予備校
4	11:45～12:30	●美容実習	数学Ⅰ	●製菓実習	●看護技術	英語 北九州予備校
5	13:15～14:00	理科総合	●美容実習		世界史B	
6	14:10～14:55		●美容実習	現代文		
7	15:05～15:50		こころとからだ の理解	●器楽		

第3回

中学生のための 学校見学会

第1部

学校紹介

生徒による教育方針と各科コースの教育活動報告

入試説明

①募集要項 ②入試傾向と対策 ③過去問題を配布

第2部

①セミナー(各科コース)

各科コース選択の視点、入試制度(推薦・一般)や学費など受験生や保護者の疑問にお答えします。受験までの二ヶ月、必要なデータを収集し、受験に備えましょう。

②部活動紹介

有意義な高校生活を送るための部活動選びの参考にしましょう。

第3部 校内見学・部活動見学

- ①看護実習室
- ②福祉実習室
- ③コンピュータ室
- ④器楽実習室
- ⑤製菓実習室
- ⑥美容実習室

11/ 6 土

「折尾歴史探訪」

第12回 疋田小三次の墓①

正願寺の裏手、境内墓地の一角に疋田小三次父子の墓があります。小三次は黒田藩家老、黒崎城主井上周防之房の四男半右衛門の家臣で、半右衛門は我儘な二代藩主忠之の不興を受けて脱藩します。忠之は父長政が元和九年(1623)に亡くなりますが、その後藩主となります。忠之の性格は短気で我儘、その上、暗愚だったようで、黒田騒動が起こった原因も、その辺にあったように考えられます。半右衛門の脱藩も、藩主の我儘と愚鈍さのせいに他なりません。甥の忠三郎は忠之の小姓を務めていましたが、おじの半右衛門と一緒に脱藩します。忠之の二人の脱藩に対する怒りは異常だったと云います。必死に捜索しているうちに、二人の脱藩を手助けしたのですが半右衛門の家来、疋田小三次であった事がわかります。忠之は代官大野左馬右衛門に、小三次の行方を厳しく捜査させ、遂に捕らえることとなります。小三次は厳しい拷問を受けながらも、一言も語らず非業の刑死を遂げたと云います。小三次には三男一女があって、長男六才、四才、二才と娘は一才でありました。封建時代の苛酷非情な処刑によって、三人の男児も処刑されました。娘は八幡東河内に難を逃れたと云います。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>